

# 変わるテレビの選挙報道 —2022年と2025年の参院選の比較から—

笹田 佳宏\*

## はじめに

2025年7月3日に公示され、7月20日に投開票が行われた第27回参議院議員選挙。この選挙は参院選でありながら「政権選択選挙」と位置づけられた。結果は自民、公明両党の与党は、目標に掲げた50議席を下回る47議席となり、125席の過半数を割り込み、衆院に続き、参院でも少数与党となり惨敗となった。野党第一党の立憲民主党は議席を伸ばせず、「手取りを増やす」と訴えた国民民主党、「日本人ファースト」を掲げた参政党が躍進する結果となった。

この参院選の前、2024年に行われた衆議院東京15区補欠選挙、東京都知事選挙、衆議院選挙、兵庫知事選挙で既存メディアの選挙報道には、多くの問題が突き付けられた。衆議院東京15区補欠選挙では、政治団体「つばさの党」の黒川代表らが、選挙中、他候補の街頭演説中に大音量で話し妨害したり、選挙カーを追いかけるなど他陣営の選挙を妨害した。しかし、選挙期間中の公平性を損なわないかとの配慮から多くのメディアが選挙後にこの事実を報道した。また、東京都知事選挙で既存メディアは、選挙戦は小池都知事と蓮舫氏を軸に展開する見通しで、事実上の与野党対決になるという構図を描いた。しかし結果は、小池都知事当選、次点は街頭演説の「切り抜き動画」をSNSや動画投稿サイトで拡散した石丸伸二氏だった。石丸氏は1,658,363票を獲得、蓮舫氏は1,283,262票と3位となった。石丸氏が獲得した得票は前回2020年の都知事選の次点の宇都宮健児氏の約2倍、2016年の次点だった元総務相、増田寛也氏の1,793,453票に迫る票数だった。さらに、兵庫県知事選挙では、「NHKが行った出口調査では、投票の際に何を最も参考にしたかという問いに対し、『SNSや動画サイト』と答えた人が30%と、テレビや新聞（各24%）と答えた人より多くなった。一方、選挙期間中、SNSでは、対立陣営への誹謗中傷や偽・誤情報、マスメディアへの批判が数多く飛び交った。パワハラ疑いをめぐっては、『メディアの報道はデマで、斎藤氏は不当に攻撃されている』などとする投稿が相次いだ。斎藤氏の再選を受けて『大手メディアの敗北』という言葉も出回った」と指摘されている<sup>(1)</sup>。

こうしたことを受けて、テレビ各局は、選挙報道のあり方について見直しを行い、今回の参院選に臨んだ。例えば日本テレビは、2025年の年明けから選挙報道の改革を進め「古文書化していた選挙報道ガイドラインの全面改定を行った。（中略）大原則として公平性を『量』以上に『質』に重きを置いて判断すること、民主主義の根幹である選挙を機能させるべく、有権者の投票行動に資する事実に立脚した『多く』の情報を『広く』届けることを掲げた<sup>(2)</sup>』としている。フジテレビでも「選挙報道の指針を改定し、選挙報道の『質的公平性』の一層の重視、SNS・動画による真偽不明情報や誹謗中傷等への対応、取材時の記者・カメラマン等の安全対策などを新たに掲げた<sup>(3)</sup>』とし

---

\*ささだ よしひろ 日本大学法学部 教授

ている。

また、TBSテレビでは2024年の衆院選後から、選挙報道について考える動きが自発的に始まり参院選では「『有権者の立場で投票前に知りたいことは何だろう?』という視点で、『質的公平性』の観点に重きを置き、各党の主張や政策内容、社会の問題点がより広く、分かりやすく伝わるよう努めた<sup>(4)</sup>」としている。NHKも2025年6月18日の山名啓雄・メディア総局長会見で「兵庫知事選挙などでは、既存のメディアは国民が求める情報を的確に伝えていなかったのではないかといった声がかかれた」としたうえで、ネット空間の情報の検証とともに「有権者に判断材料を提供するため、事前報道の質を高めて量を増やす」「争点や政策に力を入れる」「政党・候補者の主張スタンスなどを整理・分析して伝える<sup>(5)</sup>」などと選挙報道改革について説明した。

本論では、こうした各テレビ局の選挙報道改革が、2025年7月の参院選報道で実際にどのような形で番組に反映されたのかを2022年の参院選報道と比較し考察する。具体的には、各社の夜帯のニュース、NHK『ニュースウオッチ9』、日本テレビ『news zero』、テレビ朝日『報道ステーション』、TBSテレビ『news23』、テレビ東京『WBS』、フジテレビ『Live News a』の6番組を比較する。対象の期間は、参院選の公示日から投票日の2日前の金曜日までとした。2022年の参院選は、沖縄の「慰霊の日」と公示日が重なることを避けるため、公示日が6月22日に設定された。これによって選挙期間は通常の17日から1日増えて18日間となった。しかし投票日の2日前の7月8日午前に関与候補者の応援演説中だった安倍晋三元首相が銃で撃たれ殺害されるという事件が発生し、当日の各番組では参院選関連の報道は行われなかった。このため実質的な対象期間は、2022年、2025年ともに12日間となっている。

内容分析は、各番組の参院選関連の報道時間を計測するとともに、各番組の右上や左上などに表示されているいわゆるコーナー名やテロップを抜粋し放送日ごとにまとめた表を2022年参院選、2025年参院選別に作成し行った。例えば、「選挙戦スタート」との同一のタイトルで、「選択肢どう示すか」「党首の訴えは」など異なる内容を報道している場合は〔 〕内にその報道内容を表記した。また、「参院選」という言葉は必要な場合のみ表記した。また、カッコやダブルクォーテーションなどは省いた。

### 2022年と2025年の参院選関連の報道時間

6番組の参院選関連の報道時間をまとめたものが【表1】である。2022年と2025年を比較すると『ニュースウオッチ9』を除く民放5番組は全て参院選関連の報道時間が増えている。最も報道時間が増えたのが『news23』で、44分43秒から2時間38秒となり約2.7倍となった。『news23』は2025年の参院選関連の報道時間が6番組中最も多かった。次いで、増加率が高かったのが『news zero』の43分3秒から1時間49分14秒で約2.5倍、『WBS』を加えた3番組が2倍以上報道時間が増えた。選挙報道改革を行った結果、『ニュースウオッチ9』を除き報道時間が増えていることが確認できた。

また、参院選関連の報道時間が10分を超える枠を見てみると、2022年は『ニュースウオッチ9』が3回、『報道ステーション』が2回の計5回だった。『news23』『WBS』『Live News a』は10分を超える枠は無かった。これに対し2025年は、最も報道時間が長かった『news23』の8回を筆頭に、『news zero』『WBS』が5回、『報道ステーション』が4回、『ニュースウオッチ9』が3回となっており、一つのテーマでできるだけ多くの情報をとどけようとする姿勢が読み取れる。

【表1】 各番組の参議院選挙公示日から投票日前日までの放送時間

番組名	2022年	2025年	前回比
ニュースウオッチ9	1時間49分29秒	1時間46分46秒	96.82%
news zero	43分03秒	1時間49分14秒	253.74%
報道ステーション	52分22秒	1時間34分55秒	181.25%
news23	44分43秒	2時間38秒	269.77%
WBS	46分28秒	1時間34分16秒	202.87%
Live News α	25分32秒	27分3秒	105.94%
合計	4時間21分37秒	9時間12分52秒	211.32%

### NHK『ニュースウオッチ9』

2022年の『ニュースウオッチ9』の参院選報道の特徴の一つとして、党首に焦点を当てていることが挙げられる。公示日6月22日の「党首の訴えは」で9党の街頭演説を放送、翌日には、投票の際に有権者が何を重視したらよいのか、その手掛かりを探るために9党首の第一声に注目。第一声で語られた言葉4万7,000字を書き起こしAIで分析した。最も多く語られた言葉は「物価」で、関連関係のワードとともに与野党の訴え方の違いなど説明した。また、「憲法」の発言回数なども紹介。「物価」「憲法・外交安保」ともに政治部記者の解説を加えた。7月5日～7日までの3日間は、「党首 熱い選挙戦」と題して、9党党首の選挙戦を伝えた。また、争点としては、「物価高騰」「物価高・賃上げ」「日本の安全保障環境」を取りあげた。争点ではないが、参議院の役割の解説、女性議員に焦点を当てた企画もあった。選挙区は1人区の岩手、定員3に13人が立候補した兵庫、2022年は参院選に加え7つの市長選と県知事選が行われた沖縄、合区となって3回目の参院選となる鳥取・島根を扱った。

2025年の参院選報道では、「THE 争点」のタイトルで「コメの増産」「物価高対策」「米関税への対応」「社会保障」「選択的夫婦別姓」の5つのテーマを取り上げた。「物価高対策」では、子ども食堂で提供するカレーが物価高でおかわり自由から1杯・大盛に制限されたことを伝えたうえで、14各党が掲げる給付や減税といった物価高対策を説明。そのうえで、「給付と消費税減税 徹底討論」で見方が異なる経済の専門家の討論を放送した。「米関税への対応」「社会保障」「選択的夫婦別姓」でも街での取材、各党の考えを紹介する形になっている。「THE 争点」以外では、SNSの偽情報拡散の問題、「参院選とSNS」と題し、SNSで「外国人」という投稿が急増した問題を取り扱っている。また「みんなの選挙」では、障害がある人の投票に対する課題について伝えた。選挙区は、1人区の宮崎、岐阜、香川、2022年同様、定員3人に13人が立候補した兵庫を取り上げた。

2022年と2025年を比較してみると、2025年は「THE 争点」というシリーズ企画を実施し争点を取り上げる回数が3回から5回に増え力を入れていることがわかる。2022年に焦点をあてた党首は、2025年は「選挙戦スタート」の1回だけだった。また、2022年の女性議員に焦点を当てた企画や障害がある人の投票の課題は、NHKらしい企画だと言える。

【表2】 2022年参議院選挙 NHK『ニュースウオッチ9』

月 日	コーナー名等
6月22日(水)	参院選が公示 投票率へ 一票の大切さ 選挙戦スタート 〔選択肢どう示すか〕〔党首の訴えは〕〔焦点の政策は〕〔与野党はどう戦う?〕〔岩手1議席を5人が争う〕〔兵庫 定員3人に13人立候補〕〔憲法改正をめぐる議論は〕〔来月10日投開票〕 〔党首の訴えは〕 自民・岸田総裁、立憲・泉代表、公明・山口代表、維新・松井代表、国民・玉木代表、共産・志位委員長、れいわ・山本代表、社民・福島党首、NHK党・立花党首
6月23日(木)	9党首の第一声 AIで分析 〔物価対策 与野党の違いは〕〔憲法・外交安保は〕
6月24日(金)	物価高騰 身近な品目で… 争点は経済対策 候補者アンケートで半数近く 投票の参考に あなたと一番近い候補者は?
6月27日(月)	NHK世論調査結果 期日前投票 きのうまでに217万5,000人余りに 知っていますか? 参議院の役割 徹底解説 参議院 〔山内キャスター国会へ〕〔政変のはじまり?〕〔多様性に対応〕〔2度考える重要性〕〔今回の選挙 重要性は〕
6月28日(火)	最大の争点 物価高・賃上げ 上がらない賃金 投資でカバーしたいけど 物価高 マイフォーム選びにも影響 投票先どう選ぶ? 政策が長期的に成り立つか
6月29日(水)	厳しさ増す 日本の安全保障環境 争点「安全保障」 〔南西地域の防衛強化〕〔機動力で有事に対応〕〔米軍 日本で相次ぎ訓練〕〔住民の生活への影響も〕〔各党の訴えは〕〔防衛費が議論に〕〔防衛費 各党の訴えは〕
6月30日(木)	注目の選挙区 選挙イヤーの沖縄 沖縄選挙区 天王山にらむ戦い 選挙区の構図 より詳しく知りたい人は
7月1日(金)	鳥取 島根 選挙区 〔合区 今回で3回目〕〔東西約300キロの選挙戦〕 選挙区の構図 より詳しく知りたい人は
7月4日(月)	NHK世論調査結果 参院選「必ず行く」「期日前投票した」計59% 女性議員 〔候補者は過去最高33%〕〔半数の大磯町 意見言い合える〕〔割合低いと政策偏りや議会不信〕 〔候補者同数を義務づけ メキシコ〕〔クオータ制〕 候補者にアンケート
7月5日(火)	投開票まであと5日 党首 熱い選挙戦 自民・岸田総裁、立憲・泉代表
7月6日(水)	党首 熱い選挙戦 公明・山口代表、維新・松井代表
7月7日(木)	党首熱い選挙戦 国民・玉木代表、共産・志位委員長、れいわ・山本代表、社民・福島党首、NHK・立花党首
7月8日(金)	参院選関連なし

【表3】 2025年参議院選挙 NHK『ニュースウオッチ9』

月 日	コーナー名等
7月3日(木)	選挙戦スタート 〔有権者の声は〕〔党首らの訴えは〕自民・石破総裁、立憲・野田代表、維新・吉村代表、公明・斎藤代表、国民・玉木代表、共産・田村委員長、れいわ・山本代表、参政・神谷代表、保守・百田代表、社民・福島党首、みんなで作る党・大津党首、NHK党・立花党首、再生の党・石井代表、チームみらい・安野党首 官邸キャップが見る注目の争点は 注目の選挙区 ポイントの1人区 宮崎選挙区 定員1 4人の争い 兵庫選挙区 定員3人 13人の争い 議席数はここに注目 専門家の展望は 政権枠組みに影響
7月4日(金)	SNSで拡散 偽情報など 世界の選挙で 日本でも不正選挙 疑う関連投稿 半年で51万件
7月7日(月)	THE争点 コメの増産 〔どう考える?〕〔農家を広内取材〕 NHK世論調査結果
7月8日(火)	THE争点 物価高対策 〔名物のカレーが…子ども食堂と物価高〕〔給付 減税 各党の主張は〕〔給付 減税専門家 徹底討論〕
7月9日(水)	THE争点 米関税への対応 〔発動3カ月 企業に…〕〔雇用 懸念の企業も〕〔政府対応 各党の評価は〕
7月10日(木)	THE争点 社会保障 〔直面する課題は〕〔社会保障 各党は〕
7月11日(金)	THE争点 選択的夫婦別姓 〔YOUの国では?〕〔選択的夫婦別姓 どう考える?〕〔夫婦の姓のあり方 各党の考えは〕
7月14日(月)	岐阜選挙区 6人の争い 「政治とカネ」受けて NHK世論調査結果
7月15日(火)	香川選挙区 6人の争い 現職に新人挑む
7月16日(水)	参院選とSNS 外国人投稿急増、広がる動画 情報を確かめ大事な1票を
7月17日(木)	みんなの選挙 〔音で聞ける選挙公報 視覚に障害ある人は〕〔音で聴ける広報 課題も 日本語として分からず〕〔音で聴ける選挙公報 改善は 選管など周知徹底を〕〔選挙の情報の壁どう改善?〕〔選挙のことば わかりやすく 自分で決めて1票を〕
7月18日(金)	あさって投票 〔有権者は何を重視?〕〔あさって投票日 投票率の行方は〕

### 日本テレビ『news zero』

2022年の『news zero』の参院選報道は、他の番組とは少し異なるスタイルだった。例えば6月24日の放送は、「勤務地は自宅。入社したら出張扱いという新たな制度をNTTが来月から導入すると発表しました」とのアナウンスではじまる。NTTドコモ広報部の話、新制度説明などと続くが、途中から画面右上に「参院選『違い』がわかる候補者アンケート」の文字とQRコードが表示される。そしてコーナーの最後に有働由美子アナウンサーが「参院選『候補者アンケート』でも雇

用について聞いています」と紹介し、「雇用形態『安定性』『流動性』重視は…」という候補者アンケートの結果を「自民党 どちらとも言えない60%」「立憲民主党『安定性』重視に近い45%」などと表示。そして「主要9党の候補者では、立憲、共産、れいわ、社民は安定性重視、重視に近い」など紹介していく。最後に有働アナウンサーが「候補者の考え方をいろいろと聞いていますので、ぜひ自分と近い人を探して投票の参考にしてください」とアナウンスしコーナーを閉める、というもの。2022年の参院選で『news zero』は、「2分でわかる診断 考え方『近い』候補者は」と題した、全候補者を対象とした28問のアンケートを実施し、公開した。

一見するとN T Tの新制度のニュースと見えるがこのパターンの放送が、公示日6月22日「値上げポテトチップスも」をはじめ9本あった。【表4】の<>内が、番組で紹介した候補者アンケートの質問内容となっている。また、6月28日、7月1日は、候補者アンケート結果の表示はない。7月1日の「iPhone13『4万円』値上げも…円安影響」では、ニュースを伝えた後に有働アナウンサーが「こうした円安、物価高の対策をどうして行くのかということですが、候補者アンケートで各候補がどう考えているかわかります。ぜひ参考にしてみてください」とアナウンスしている。初見では、参院選報道かどうか一瞬迷ったが、こうした伝え方もあると考えカウントした。参院選の争点として「物価高騰」「物価高・賃上げ」などを扱った報道はなかった。また、選挙区で取り上げたのは新潟と東京だった。

一方、2025年の『news zero』は大きく様変わりしている。公示日7月3日の参院選関連のコーナーの冒頭で、佐藤梨那アナウンサーが「選挙は民主主義の根幹です。日本テレビでは今年5月に作成した選挙報道の指針に基づき取材によって得られた事実を深く、広くお届けしてまいります」と語り、メインキャスターの藤井貴彦が「そして私、藤井は各党の党首に直接あって、選挙戦をどう戦うのか話を聞いていきます」と続けた。2025年の選挙報道では党首インタビューの「藤井が聞く」を柱に参院選報道を行った。7月3日の初日は自民党の石破総裁ではなく、参政党の神谷代表へのインタビューだった。石破総裁は、維新の吉村代表の後の3番目となった。従来の考え方である与党からということではなく注目度合を優先したという意味が垣間見える。また、【表5】の〔〕内が質問内容であるが、党首への質問内容は同じことを聞くのではなく、それぞれの党の政策を深掘りする内容となっている。神谷代表への質問は「外国人政策 どう考えている?」「参政・参院選の公約 消費税 段階的な廃止とは?」「15歳までの子どもに月10万円給付 財源は?」「参政党の弱みどう力を底上げする?」などとなっている。党首インタビューは、自民・石破総裁以降は、立憲・野田代表、国民・玉木代表、公明・斉藤代表、れいわ・山本代表に行った。保守・百田代表、社民・福島党首は山本代表のインタビューに続いて街頭演説の模様を放送した。

公示日7月3日には神谷代表インタビューの他にも変化が見られた。各局が報じる「党首第一声」の放送が無かった。公示日に「党首第一声」を報道しなかったのは6番組の中で『news zero』だけだった。その一方で、宮城選挙区のNHK党候補者が、選挙ポスターで立憲の候補者の名誉を棄損した疑いで刑事告訴されたことを報道した。宮城県警が告訴状を受理したこととともに、NHK党候補者の「警察の判断。捜査を見守る」というコメントも伝えた。候補者の氏名は出さなかったが、選挙区を伝えているので調べれば候補者名はすぐにわかる。これまでであれば候補者に不利になる、公平性が担保できるかということ報道されなかったかもしれないことを報道した。

こうした報道は7月18日にも行われた。「見解に抗議 日本自閉症協会が声明発表」は、2020年度

出版の「参政党Q&Aブック基礎編」に掲載された発達障害のある子どもへの教育について「通常の子どもたちと全く同じ教育を行えば問題ない。そもそも発達障害など存在しません」としたことに対して、日本自閉症協会が抗議声明を発表したという報道。神谷氏の「参政党はこの本について選挙（前回の参院選）のときにバタバタした状況で作った本だったので、その本は選挙（前回の参院選）後、発行をやめて、中身も書き直したものにしている」との発言を伝え、「内容にあやまりがあったため絶版にした」「神谷代表は街頭演説で、昔の本ですでに意見は変えている、という趣旨の説明をしました」とのナレーションを加えた。同日の「公約に抗議 医療巡り医師ら団体が声明発表」も参政党関連。同党の公約に「終末期における過度な延命治療に高額医療費をかけることは、国全体の医療費を押し上げる要因の一つ」と記述したことに対し、全国保険医団体連合会が「終末期医療が『国全体の医療費を押し上げている』 事実は見当たらない」との抗議声明を発表したという報道内容だった。2025年の参院選報道で取り上げた選挙区は東京のみだった。また、SNS関連では、各党のSNS戦略について独自アンケートを行うとともに、外国勢がニセ情報を拡散していることを伝えた。

日本テレビでは「古文書化していた選挙報道ガイドラインの全面改定を行った」というとおり、『news zero』の2022年と2025年の参院選報道は大きく様変わりした。2022年は参院選を全面に出すことなく報道を行っていたが、2025年は、参院選報道にあたり「投票前に考える それって本当？」のキャッチフレーズを使用するとともに、党首インタビューの「藤井が聞く」を柱に参院選報道を行った。また、NHK党候補者が選挙ポスターで立憲候補者の名誉を棄損した疑いで刑事告訴されたという報道などは、「有権者の投票行動に資する事実に立脚した『多く』の情報を『広く』届けることを掲げた」というスタンスに沿ったものだと考える。

【表4】 2022年参議院選挙 日本テレビ『news zero』

月 日	コーナー名等
6月22日(水)	値上げ ポテトチップスも…今年2回目 ガソリン高騰 出前の負担「月5000円」増 参院選公示 9党首「第一声」は…選挙戦 自民・岸田総裁、立憲・泉代表、公明・山口代表、維新・松井代表、共産・志位委員長、国民・玉木代表、れいわ・山本代表、社民・福島党首、NHK党・立花党首 投票呼びかけ ナゼ？長澤まさみ 鈴木福ら 候補者違い 生理用品も軽減税率？ 9党は <生理用品も軽減税率の対象に><フェイクニュースなどへの罰則・規則> 2分でわかる 自分と近い候補者は…診断
6月23日(木)	家計改善 「30代4人世帯」が突出ナゼ？ <男性の育児休暇取得を雇用主に義務付けること>
6月24日(金)	勤務は自宅 出社は「出張扱い」飛行機代も 違いわかる 雇用は 安定性？ 流動性？ <雇用形態「安定性」「流動性」重視は…>
6月27日(月)	櫻井解説 電気代 年間2万円アップ 新試算 <新基準満たした原発の再稼働>
6月28日(火)	節電ポイント 2000円相当が…8月中開始へ <候補者アンケート表示なし>

6月29日(水)	ロシアは「脅威」中国にも初言及（ニュース本文に候補者アンケートの表示なし） <日本の防衛力をさらに強化すること>
6月30日(木)	参院選関連なし
7月1日(金)	iPhone13 4万円 値上げも…円安影響 <候補者アンケート表示なし>
7月4日(月)	770万人超 期日前投票 大幅像に 770万人 期日前…激戦 1人区は（新潟選挙区） 2分でわかる あなたと「考え」近い候補者は <石油元売りへの補助金はガソリン税の引き下げによるガソリン価格高騰対策。新潟選挙区候補者>
7月5日(火)	新型コロナ 東京5000人超… 2カ月ぶり 新着 ナゼ今？ 倍増 東京感染者5300人超 新着 急増ナゼ？ 全国感染3万人超 東京で倍増 「コロナ対策」候補者違いは <感染対策 or 経済どちらを重視？ 濃厚接触者の待機期間を短縮>
7月6日(水)	34人立候補 大混戦 東京…現職4人は 40代以下 投票率1パーセントで損 7万円超試算 <選挙のネット投票賛成？ 反対？>
7月7日(木)	34人立候補 「大混戦」東京…現職以外は
7月8日(金)	参院選関連なし

【表5】 2025年参議院選挙 日本テレビ『news zero』

月 日	コーナー名等
7月3日(木)	20日投開票 17日間選挙戦スタート 参政・神谷代表に藤井が聞く 〔参政党の方針は？〕〔外国人政策 どう考えている？〕〔参院選における参政党の存在について〕 〔参政・参院選の公約 消費税 段階的な廃止とは？〕〔15歳までの子どもに月10万円給付 財源は？〕〔参政党の弱みどう力を底上げする？〕 選挙ポスターで名誉毀損
7月4日(金)	参議院選挙 〔与党 過半数確保は微妙な情勢〕〔国民・参政 大幅議席像の勢い〕〔与党 過半数確保は微妙 なぜ〕〔首都・東京「7議席」の最新情勢〕 藤井が聞く #2維新・吉村代表 〔維新・参院選の公約 社会保険料年6万円↓なにをいくら削減する？〕〔世論調査 維新支持率2% 10党中下から3番目〕〔参院選後 政権与党との関係は？〕〔参院選 目標議席数は？〕
7月7日(月)	各党SNS戦略…独自アンケート
7月8日(火)	自民石破茂総裁 ask 藤井貴彦 〔自民・参院選の公約 1人2万円の現金給付〕〔2030年度に賃金約100万円増〕〔参院選の情勢調査 与党で過半数微妙に、参院選の目標ライン 達成できなかった場合は？〕〔自民党のアピールポイントは？〕
7月9日(水)	注目発言も 藤井が聞く #4立憲・野田代表 〔立憲・参院選の公約 2万円給付 所要額2.5兆円 消費税0%（食品） 所要額5兆円〕〔参院選後 政権交代の可能性は？〕〔SNS時代の選挙戦 どう戦っていく？〕〔若い代表の政党増 どうみている？〕〔野田代表のミッション 政権交代を果たすこと？〕 投票まで10日あまり…選択は

7月10日(木)	藤井が聞く #5国民・玉木代表 〔支持率の低下 どう受け止める?〕〔国民・参院選の公約 一律 消費税5% 他党との違いは?〕〔世論調査 国民民主党の支持率 5月11%、6月5%〕〔103万円の壁 178万円への引き上げは?〕
7月11日(金)	藤井が聞く 公明・斉藤代表&共産・田村委員長 公明・斉藤代表 〔少数与党での政権運営 どう感じている?〕〔公明・参院選の公約 一人2万円の現金給付 自民党とどう調整?〕〔食料品の消費税 なぜ公約本体に入れず?〕〔支持を失った理由 どう考える?〕 共産・田村委員長 〔共産・参院選の公約 消費税5%へ減税 どう実現?〕〔SNS戦略室 どんなことをする?〕 〔共産・参院選の公約 最低賃金 全国一律 1,500円どう実現?〕〔投票先に選ばれるため必要なことは?〕
7月14日(月)	参議院選挙 党内に意見の違いも…アンケート
7月15日(火)	与党 過半数確保は厳しい情勢 国民民主・参政 勢い維持 与党 過半数は厳しい なぜ? 政局揺れる已年選挙とは? 藤井が聞く #8れいわ・山本代表 〔バンドの生演奏 狙いは?〕〔れいわ・参院選の公約 (以下、「公約」) 消費税廃止 各党も減税 掲げたが?〕〔公約 消費税廃止 まず減税目指す考えは?〕〔公約 消費税廃止 税収どう賄う?〕〔公約 10万円給付 財源どうする?〕 参議院選挙 保守・百田代表 3つの政策 (街頭演説VTR) 参議院選挙 社民・福島党首 差別主義に危惧 (街頭演説VTR)
7月16日(水)	日本標的か 外国勢がニセ情報を拡散? SNS拡散 石破首相 ニセ情報を検証 切り抜き動画 アカウントは凍結 相次ぐ凍結 ニセ情報拡散に外国勢力なぜ SNS拡散 外国勢力がニセ情報?なぜ
7月17日(木)	参院選・東京 32人が争う首都決戦 7議席誰に 参議院選挙 投開票は3日後…期日前投票も
7月18日(金)	党首訴え 〔平日最後 第一声との変化は〕 自民・石破総裁、立憲・野田代表、維新・吉村代表 〔厳しい情勢 与党…躍進の党は〕 国民・玉木代表、公明・斉藤代表、れいわ・山本代表 〔何に注力? 第一声との変化も〕 共産・田村委員長、参政・神谷代表、保守・百田代表、社民・福島党首、(NHK党・立花党首・再生の道・石井代表、チームみらい・安野党首の3分割演説シーン) 藤井×8党首 動画の視聴傾向 徹底分析 見解に抗議 日本自閉症協会が声明発表 公約に抗議 医療巡り医師ら団体が声明発表

テレビ朝日『報道ステーション』

2022年の『報道ステーション』は、選挙期間中の13放送日のうち安倍元首相銃撃事件があった7月8日を除き、4放送日で参院選関連の報道が無かった。特徴として挙げられるのは、7月4日、7日の「選挙権こそないけれどU-17の一票」。7月4日は、「あなたにとって選挙って何ですか?」と高校生に問う内容。「遠い存在です」「来年18歳になって選挙権を得るとしても若い人に向けた政策が少ないからあんまり(選挙に)行っても、自分にメリットがあんまりないのかなって思います」「単純

に行かなければいけないもの」「日本を引っ張っていく方々に対して意志表示をするもの」など16人の高校生が答えている。高校生のコメントの後に、U-17 143人に「選挙権があったら今回の選挙に行きますか?」との質問をし、YES85%、NO15%の画面が表示されるというもの。7日も「政治家になったら何をしたい?」に高校生が答え、「政治で国が変わるとおもいますか?」に対する回答が表示される。争点として取り上げたのは「岐路に立つ安保」、選挙区は東京（前編・後編）と京都だった。

2025年の『報道ステーション』で特徴的だったのが参政党の差別的発言などを3回取り上げたこと。まずは公示日7月3日の神谷代表の第一声で「高齢の女性は子どもを産めない」と発言したことを報道した。発言は「子ども生めるのも若い女性しかいない。これを言うと『差別だ』と言う人がいますけれど。違います。現実です。いいですか。男性や申し訳ないけれど高齢の女性は子どもは産めない。だから日本の人口を維持していこうと思ったら若い女性に子どもを産みたいとか、子どもを産んだ方が安心して暮らせるなという社会状況を作らないといけないのに、働け働けてやり過ぎちゃったわけですよ」というもの。発言紹介の後、「神谷代表はこのように述べ、若い女性が出産しやすくなる社会の必要性を訴えました。また演説後、発言について問われると『生物的な話をしただけだ』と述べました」とのアナウンスが続く。参政党のYouTubeの公式チャンネルでは、該当部分が視聴できないこと、参政党の「機材トラブルが原因で意図的に削除したわけではない」との説明も加えた。7月16日の「宮城県知事 参政党代表に抗議『水道事業を外資に売った』発言」は、神谷代表の「上下水道、必要でしょ。国がやらないから宮城県みたいに民営化しちゃうんですよ。おかしい宮城県は。水道なんてめちゃめちゃ大事なわけですよ。なんでそれを外資に売りますか」という発言を取り上げた。村井宮城県知事の抗議の会見模様に加え、県の水道事業の運営は民間企業に委託し運営会社に外資の日本法人が一部出資しているが、最大の株主ではない、などの説明を行った後、神谷代表の「まだみていないんですよ。半分以上、株式を持たれると外資になっちゃうから、良くないと。正確にもう一回調べないと。私たちも何にも言えませんから。一回調べて正式に回答したい」とのコメントを流した。また7月18日の「参政・神谷代表演説で差別的表現直後に訂正し謝罪」の発言は次のとおり。参院選候補の応援演説で参政党の憲法構想への批判に対し神谷代表が「理想をかかげたわけですよ。それをあれが足りない、これが足りない。憲法わかってない。アホだのバカだのチョンだの。チョンって言ったらだめだ。ごめんなさい。今のカット。すみませんでした。ごめんなさい。あーまた言っちゃった。これ切り取られるわけですよ」という発言。参政党のYouTubeの公式チャンネルの映像を使い紹介した。その後、神谷代表の「わたしが悪い言葉を使ってしまったんで。申し訳ないです。そこはもうほんとうにごめんなさい。私たちが誹謗中傷を受けているという中で言っているから、誰かを誹謗中傷した訳ではないですからね」とのインタビューを放送した。

2025年の参院選報道で争点としては「物価高対策」を取り上げ、「コメどころ揺れる農業票」で新潟選挙区に焦点をあてた、選挙区としては、東京を前半・後半の2日間、福島、宮崎を取り上げた。また、SNS関連では、外国人問題がXに投稿が急増したこと、誤情報の自動拡散の問題を報道した。

2022年は安倍元首相銃撃事件があった7月8日を除き、4放送日で参院選関連の報道が無かったが、2025年は2放送日に減った。また2025年は、「確かめて 選ぶ」のキャッチフレーズを使用し参院選

報道を行った。2022年との最大の違いは、選挙期間中に参政党の差別的発言などを取り上げたことだろう。

【表6】 2022年参議院選挙 テレビ朝日『報道ステーション』

月 日	コーナー名等
6月22日(水)	参院選公示 〔物価高対策は〕〔物価高対策 安保は 18日間の選挙戦 各党党首「第一声」〕 自民・岸田総裁、立憲・泉代表、公明・山口代表、維新・松井代表、共産・志位委員長、国民・玉木代表、れいわ・山本代表、社民・福島党首、NHK党・立花党首 「重視する政策」に変化は 報道ステーション世論調査
6月23日(木)	参院選関連なし
6月24日(金)	参院選関連なし
6月27日(月)	参院選関連なし
6月28日(火)	学生街の名物弁当店 最後の日 物価高に対策は…
6月29日(水)	参院選関連なし
6月30日(木)	首都の陣 異例の大混戦 身内の戦いも 激戦34人立候補 東京選挙区前編
7月1日(金)	全国最多6議席争い 34人の混戦 全国最多6議席争う 首都決戦 東京選挙区 後編
7月4日(月)	期日前投票に778万人 参院選 投票は来週10日 選挙権こそないけれどU-17の一票 あなたにとって選挙って何ですか？ U-17の一票
7月5日(火)	構図一変 与野党が大混戦 京都選挙区
7月6日(水)	南の島で…岐路に立つ安保 〔最新ミサイル 有事に備え訓練〕〔防衛 南西シフトで基地新設〕〔自衛隊の新基地 建設の現場〕〔石垣島 ミサイル基地の建設現場取材、各党の主張〕
7月7日(木)	選挙権こそないけれどU-17の一票 政治家になったら何をしたい？
7月8日(金)	参院選関連なし

【表7】 2025年参議院選挙 テレビ朝日『報道ステーション』

月 日	コーナー名等
7月3日(木)	参院選公示 〔各党第一声〕〔政権選択選挙 17日間の選挙戦スタート〕 自民・石破総裁、公明・斉藤代表、立憲・野田代表、維新・吉村代表、共産・田村委員長、国民・玉木代表、れいわ・山本代表、参政・神谷代表、社民・福島党首、保守・百田代表 高齢の女性は子どもを産めない 参政党・神谷代表 街頭演説で
7月4日(金)	参院選 期日前投票始まる 522人が立候補
7月7日(月)	比例投票先 自民最多 参政3番手 東京選挙区 最激戦 東京 候補者の訴えは？（前半） 7議席を争う東京32人が立候補
7月8日(火)	東京選挙区 最激戦 東京 候補者の訴えは？（後半） 7議席を争う東京32人が立候補

7月9日(水)	参院選関連なし
7月10日(木)	参院選関連なし
7月11日(金)	構図一変で激戦 福島選挙区
7月14日(月)	「外国人問題」Xに投稿急増 外国人政策 演説で各党は 全量調査で高い関心 「外国人問題」Xで注目
7月15日(火)	自公 過半数 困難か 情報調査 揺らぐ保守票 宮崎選挙区
7月16日(水)	宮城県知事 参政党代表に抗議 「水道事業を外資に売った」発言
7月17日(木)	コメどころ 揺れる農業票 揺れる農業票 新潟選挙区 参院選
7月18日(金)	最終盤 党首たちの主張 参政・神谷代表 演説で差別的表現 直後に訂正し謝罪 選挙に影響 誤情報の自動拡散 〔まとめサイト 関連SNS凍結〕〔拡散SNSの3割以上がBot〕〔政府「他国の介入報告も」 真偽は…〕〔偽情報も拡散？Botとは〕

### TBSテレビ『news23』

2022年の『news23』は、『報道ステーション』と同様に安倍元首相銃撃事件があった7月8日を除き、4放送日で参院選関連の報道が無かった。特徴的だったのは、若者と選挙に焦点をあてた点。公示日6月22日に党首の第一声を報道せず、「若者の投票率どうなる？」をテーマに報道した。街頭インタビューで18～32歳の男女8人のインタビューを放送。その後、投票を呼び掛ける「VOICE PROJECT」を紹介し、星浩氏よる若者の投票率が上がるには争点がクリアなこと、接戦に持ち込むことなどの解説が行われた。6月27日にも「若者に聞く 注目するのは…」と題して若者と選挙を取り上げた。19～24歳の男女6人の街頭インタビューを放送、若者がジェンダー・同性婚に関心が高いようだと、同性婚に関する考えを述べる17～22歳の男女5人の街頭インタビューをさらに放送し、最後に同性婚の法制化に対する9党の考えをパネルで紹介した。7月7日には、小川彩佳・キャスターが「日曜に迫った参院選、若者の投票率について考えます」とのアナウンスののち、開票日の選挙区特番のキャスター・石井亮次氏、同スペシャルキャスター・太田光氏、JX通信社・米重克洋代表、政治家と若者を繋ぐ活動に取り組むPoliPoli代表の伊藤和真氏、小川キャスターが対談形式で議論を行った。「若者がなかなか選挙に足を運ばないのはなぜか?」「若者は今、政治に何を求めている?」「若者が選挙に行くために政治家は何をするべき?」について討論した。

争点としては、節電ポイント付与、防衛費の増額、物価高、ガソリン高に関連して長野選挙区を取り上げた。また、6月23日には、女性議員に対するハラスメントについて報道した。

2025年の『news23』は、他の番組が取り上げていないテーマを扱った点が特徴的だ。他局では取り上げられなかったテーマとしてまずは、7月9日「海外メディアが見た 日本の選挙と報道」が挙げられる。ここでは、「日本駐在記者 参政党演説に」「選挙報道 テレビの役割は」「SNS流れる憶測に…」「テレビの選挙報道のあり方は」「選挙報道 テレビの役割」と5つのトピックスを扱った。「選挙報道 テレビの役割は」では、テレビの選挙報道について有権者から「テレビでは

(情報を) 得ない。ネットを見てXを見て」「テレビ越しだと演出されているのかなとか。脚本があるのかなと疑って見がちなどこはある」など率直な意見を聞いている。そのうえでドイツ公共放送のプロデューサーが日本の選挙報道について公平性を重視しすぎているとしたうえで「ちょっとビビりすぎなんじゃないかという気もする。公平性がありすぎると自由な議論ができなくなってしまって。質が下がってしまうから視聴者も不満が溜まるでしょうし」などのコメントを紹介している。「選挙報道 テレビの役割」では、スタジオに岩田夏弥・政治部長が加わりそれまでのVTRを踏まえて議論。岩田部長は「公平って何か、この間ずっとテーマにもなっていて。各政党ごとに同じ時間を使って伝える、いわゆる量的な公平って簡単ですけど、それだといろんなこと伝わらないと思うんですよね。そういったことに縛られすぎずに、事前の報道をどうやって充実させて有権者のみなさんが投票するときに判断する材料が提供できるかが、問われている」とコメントした。7月16日の「AIで政策作りも「チームみらい」議席獲得の可能性 諸派が訴える政策に注目」では、チームみらいのほか、NHK党、再生の道を取り上げた。また、7月18日の「政治に届くか被災地・能登の声」では、被災地が選挙の蚊帳の外になっている現状や医療費免除が打ち切られるなど被災地・能登の現状を伝えている。

争点としては、「物価高対策」「日本のコメ政策」を取り上げ、選挙区は香川、佐賀、群馬を取り上げた。また、SNS関連では、7月10日の「SNSで影響力拡大」では「小川キャスターが石破総裁を注意したことで番組を降板させられた」という誤情報がSNSで拡散されていることを放送するとともに、切り抜き動画でどうやって注目を集め収益に結びつけているかや、有権者の切り抜き動画に対する考え、どう付き合っていけばよいかを専門家に聞いた。また、7月15日には、「外国人優遇の真偽は？」と題し、優遇は本当か、デマに満ちた外国人攻撃が社会を壊す、外国人をめぐる政策は共生か規制かといった内容を放送した。

2022年は、若者と選挙を3回に渡り取り上げたが、2025年は、テレビの選挙報道に焦点を当てたなど、独自の視点の報道が目立った。また、参院選報道にあたり「選挙の日 その前に」のキャッチフレーズを使用した。参院選関連の報道が無かった放送日が2022年の4放送日から2025年は1放送日に減った。

【表8】 2022年参議院選挙 TBSテレビ『news23』

月 日	コーナー名等
6月22日(水)	若者の投票率どうなる？ 若者の投票率上がるか Awich、長澤まさみさんら呼びかけ 若者の投票率 〆 カギはクリアな争点と接戦
6月23日(木)	女性議員 〔語った票ハラ 握手したら離さない〕〔悩ますハラメント 全国初の条例が成立〕〔初の調査で明らかに 女性に政治参画阻む壁〕
6月24日(金)	参院選関連なし
6月27日(月)	若者に聞く 注目するのは… 同性婚の法制化 主要9党の考えは？
6月28日(火)	8月から節電ポイント 2,000円相当 参院選の争点に

6月29日(水)	防衛費の増額あなたは？ 参院選で注目の争点に 防衛費増額 街の声は 実には用途に限界も
6月30日(木)	参院選関連なし
7月1日(金)	参院選関連なし
7月4日(月)	止まらない物価高 〔家庭を直撃 ミルク冷やすのも保冷剤で〕〔とんかつ店にも物価高の波 パン粉もラードもサ ラダ油も〕〔価格の優等生 豆腐店の苦悩 これ以上価格転嫁できず〕〔食料配付 求めて長 い列〕〔なぜ賃金は上がらないのか 物価は上がるのに〕
7月5日(火)	参院選関連なし
7月6日(水)	ガソリン高 日本一の激戦区 物価対策は与野党の主張は？ (長野選挙区)
7月7日(木)	参院選まで3日 若者はなぜ投票に行かない？ 参院選まで3日 若者は政治に何を求めている？
7月8日(金)	参院選関連なし

【表9】 2025年参議院選挙 TBSテレビ『news23』

月 日	コーナー名等
7月3日(木)	第一声で訴えたキーワードは？ (演説をAI分析) 自民・石破総裁、公明・斉藤代表、立憲・野田代表、維新・吉村代表、共産・田村委員長、国 民・玉木代表、れいわ・山本代表、参政・神谷代表、社民・福島党首、保守・百田党首 物価高対策 長期的には？ 参院選公示
7月4日(金)	各地で「期日前投票」始まる 3連休「中日」+夏休み 投票は？ 「祭りが…」3連休 中日の投票
7月7日(月)	今月20日投開票 どうなる？参院選 序盤情報を分析 自公で過半数 微妙な情勢 激戦1人区・香川 自民「順風じゃない」
7月8日(火)	どうなる日本のコメ政策 〔再びコメ騒動にならない政策は？〕〔農家 コメ作るには人がいないと〕〔農家に補償を 主食 コメの未来は？〕〔各党のコメ政策は？〕
7月9日(水)	海外メディアが見た 日本の選挙と報道 〔日本駐在記者 参政党演説に〕〔選挙報道 テレビの役割は〕〔SNS流れる憶測に…〕〔テレ ビの選挙報道のあり方は〕
7月10日(木)	選挙 SNSで影響力拡大 「切り抜き動画」制作現場では 〔SNSで拡散 news23の誤情報〕〔進化系「切り抜き動画」こだわりは〕〔「切り抜き動画」に 有権者は？〕〔「切り抜き動画」どうつきあう？〕
7月11日(金)	参院選関連なし
7月14日(月)	参院選の中盤情勢 自公で過半数割れの可能性 ラストサンデー 各党の訴えは？ YouTube 再生回数 参政党トップ 選挙の結果次第で…3つのシナリオ
7月15日(火)	外国人優遇の真偽は？ 〔SNS上の外国人を優遇は本当？〕〔デマに満ちた外国人攻撃 社会壊す〕〔共生か規制か？外 国人めぐる政策〕

7月16日(水)	AIで政策作りも「チームみらい」議席獲得の可能性 諸派が訴える政策に注目 フェイクニュースを見抜くゲーム 「自分に力がある実感を」オードリー・タンと（インタビュー） 若者の投票率を上げるには？ 私が選挙に行かない理由
7月17日(木)	参政新人が自民現職を猛追 参院選 保守王国に異変 〔自民・立憲が横一線 激戦の佐賀、〕〔「保守王国」群馬で…参政猛追〕〔最新情勢「保守王国」に異変〕
7月18日(金)	政治に届くか 被災地・能登の声 〔能登の被災者「選挙の蚊帳の外」〕〔医療費免除も打ち切られ…〕〔能登でも…期日前投票数増〕

### テレビ東京『WBS』

2022年の『WBS』は、「党首に一問一答」を柱に報道を行っている。【表10】の〔〕内が9党の党首への質問内容。例えば、立憲の泉代表には、「消費税を一時減税 効果？」「原発ゼロ 電力逼迫にどう対応？」「防衛費 増額の必要性は？」「『安保法一部廃止』で日米関係は？」「野党共闘は限界か？」など、維新の松井代表には、「時代に合わせ構造改革を？」「防衛費増額で原子力潜水艦を」「岸田総理との距離」、国民の玉木代表には、「与党接近の動きの真意は」「給与が上がる経済どう実現？」と突っ込んだ質問を行っている。

公示日の6月22日は、党首の第一声は報道せず、争点の「賃上げ」に的をしぼり、賃上げが出来ている企業、できない企業を紹介した後、各党が賃上げをどう実現しようとしているかを紹介した。このほか「投票をアプリでサポート」でスマートニュースの提供するアプリ、キッズニアで行われた子どもたちの模擬選挙を紹介した。

2025年は、「参院選の争点 ここに注目」と「1票の流儀」の2本柱となっている。争点では、「物価高対策」「外国人政策」「子育て・少子化支援策」を取り上げている。1票の流儀は、選挙や政治との向き合い方について、田原総一郎、青山学院大学の原晋監督、シリコンバレーに在住のポケットーク社長の松田憲幸氏、テレビ東京の特別選挙キャスターの伊沢拓司氏、ローソン社長の竹増貞信氏、台湾の元デジタル大臣・オードリー・タン氏の6名にインタビューを行った。

2022年は、公示日6月22日に「賃上げ」を取り上げたが、その他はほぼ「党首に一問一答」で占められていたが、2025年は3回シリーズで争点を扱った。2022年「党首に一問一答」では、党首に突っ込んだ質問を行い、企画として優れていると感じたが、2025年の「1票の流儀」は企画の趣旨がよく見えなかった。

【表10】 2022年参議院選挙 テレビ東京『WBS』

月 日	コーナー名等
6月22日(水)	参院選スタート 「賃上げ」めぐる政策は…？ 〔18日間の選挙戦 賃上げで各党競う〕〔賃上げで各党競う 企業の本音は？〕〔きょう参院選公示 各党の主張〕
6月23日(木)	投票をアプリがサポート 意見が近い政党 チャートで診断
6月24日(金)	参院選関連なし

6月27日(月)	党首に一問一答 「岸田に投資を」の具体策とは？ 自民党 岸田に問う 〔参院選 訴えたいことは〕〔物価高への対策は〕〔「岸田に投資を」の具体策は？〕〔日本の安全保障戦略〕〔少子化問題 どう取り組む？〕
6月28日(火)	党首に一問一答 立憲民主党 泉代表に問う 〔党本部の常設スタジオ？〕〔消費税を一時減税 効果？〕〔原発ゼロ 電力逼迫にどう対応？〕〔防衛費 増額の必要性は？〕〔「安保法一部廃止」で日米関係は？〕〔野党共闘は限界か？〕
6月29日(水)	党首に一問一答 公明「賃上げ上昇」どう実現？ 公明党 山口代表に問う 〔政治に求められること〕〔賃金上昇どう実現する？〕〔円安・物価高への対策は？〕〔日本の成長戦略は？〕〔子育て支援の中身は？〕〔防衛費の水準は？〕
6月30日(木)	党首に一問一答 維新「防衛費増額」使い道は？ 日本維新の会 松井代表に問う 〔時代に合わせ構造改革を？〕〔防衛費増額で原子力潜水艦を〕〔医療ツーリズムを成長産業に〕〔政策集冒頭は子育て政策〕〔岸田総理との距離〕
7月1日(金)	党首に一問一答 共産「外交による平和」訴え 〔結党100年の日本共産党 チラシで支持拡大図る〕 日本共産党 志位委員長に問う 〔平和をどう実現する？〕〔優しくて強い 経済とは〕〔企業の内部留保は脂肪〕〔野党共闘の先行きは〕
7月4日(月)	党首に一問一答 国民「自公との連立はあるのか？」 国民民主党 玉木代表に問う 〔与党接近の動きの真意は〕〔給与が上がる経済 どう実現？〕〔電気料金 値下げの追加公約〕〔防衛費増額で何に使う？〕
7月5日(火)	子どもたちが模擬選挙 「選挙割」も導入 キッザニア 党首に一問一答 れいわ、社民、N党 何を訴える？ れいわ新選組 山本代表に問う 〔物価高対策は消費税廃止〕〔防衛費の無駄を削減〕 社民党 福島党首に問う 〔党の存在意義は〕〔内部留保課税で格差是正〕 NHK党 立花党首に問う 〔年金受給者の受信料無料化〕〔生活保護費 引き上げの意図〕〔防衛費をGDP比2%へ〕
7月6日(水)	参院選関連なし
7月7日(木)	参院選関連なし
7月8日(金)	参院選関連なし

【表11】 2025年参議院選挙 テレビ東京『WBS』

月 日	コーナー名等
7月3日(木)	参院選公示 〔各党の第一声 物価高対策など 経済対策は〕〔参院選公示 有権者100人に聞く あなたが注目する政策は？〕〔苦悩する中小企業 原材料高に人件費増…注目は〕 海外が見る日本(国旗の絵) 参院選 選挙結果と日本経済の行方は 解説 財源あいまいな物価対策 市場で始まる日本売り 新たな票先診断サービス あなたと相性いい政党は マーケティング手法で診断
7月4日(金)	序盤調査 自公で50議席超の可能性 自公で過半数うかがう 日経 参院選の序盤調査
7月7日(月)	参院選関連なし
7月8日(火)	参院選関連なし
7月9日(水)	田原総一郎の 1票の流儀 野党に投票 その真相は…
7月10日(木)	香港 周庭さんの 1票の流儀 運命を決めるもの 日本への訴え

7月11日(金)	参院選まで約10日 与野党SNSで火花 問題点も？ 与野党で広がるSNS 空中選 選挙×SNS 投票行動への影響は 解説 SNS×選挙の光と影 偽・誤情報のリスクに注意 青学大 原監督の 1票の流儀 若者は社会の野党 だから選挙へ
7月14日(月)	参院選の争点 ここに注目 物価高対策 〔給付か減税か…各党は〕〔続く物価高対にゆとりがない〕 ポケットク社長の 1票の流儀 日本（国旗の絵）課題は企業と政治の関係？
7月15日(火)	外国人政策の司令塔を設置 参院選の争点 外国人政策 参議院選挙でも争点の一つに 伊沢拓司さんの 1票の流儀 「SNSと距離」その真意は？
7月16日(水)	参院選の争点 ここに注目 外国人政策が争点に急浮上 〔外国人材 求める切実な現場〕〔外国人投資で過熱 都心不動産〕〔外国人政策 各党の主張〕 ローソン竹増社長 1票の流儀 コンビニから見る 物価高対策
7月17日(木)	参院選の争点 ここに注目 子育て・少子化 求める支援策は 〔子育てを企業が積極支援〕〔結婚・子育て 不安要素は…〕〔子育て支援・少子化対策 各党の主張〕 〔解説 少子化対策にバラマキ効果は カギは公立学校の強化？〕 台湾 オードリー・タンの 1票の流儀 日本でも可能？ 分断の癒し方
7月18日(金)	まもなく参院選 「センキョ割」大手にも拡大 〔投票したらお得 センキョ割 百貨店も参加 大手や有名店も〕〔箱根小涌園ユネッサン 若い世代は35%引き 狙いは…〕 あさって投開票 SNS分析から見えた有権者の変化 最終盤 争点に変化？ SNSで急浮上「外国人」争点に 解説 参院選 自公過半数割れなら 年内に衆院選の可能性も？

### フジテレビ『Live News α』

2022年の選挙報道は、選挙期間中の13放送日のうち、7月8日の安倍元首相銃撃事件を除き、7放送日で参院選関連の報道が無かった。こうしたことから『Live News α』を除く民放4局の参院選の報道時間が43～52分となっている中、25分32秒と最も少なくなった。

公示日の6月22日に9党党首の第一声を報道したが、時間は2分44秒だった。柱としたのが「世論調査で見えた参院選注目点」。FNN世論調査で参院選で「重視する政策」（2つ選択）の1位「物価高対策」、2位「景気・雇用」と4位「子育て支援・少子化対策」を取り上げた。ちなみに3位は「年金・医療・介護」だった。各回ともに「働く人のホンネとは」サブタイトルが付き、街頭インタビューを流したあと、それぞれのテーマの専門家が、街の声を受けて解説するというスタイルだった。

2025年は、「物価高対策と財源」「年金問題」「賃上げ政策」「外交・安保」「選択的夫婦別姓・ジェンダー」「エネルギー・原発」の6つの争点を取り上げた。フジテレビの政治部デスクが各課題を解説しつつ、各党の訴えを伝えるという形で報じた。

2022年は、13放送日のうち7放送日で参院選報道が行われなかったが、2025年は1放送日に減少した。争点の扱いも大きく変化した。また、参院選報道にあたり「もっと 投票の前に」のキャッチフレーズを使用して行った。2025年の6つの争点は、フジテレビの政治部デスクが各課題を解説しつつ、各党の訴えを伝えるという形は、コンパクトであるが理解しやすい内容であった。

【表12】 2022年参議院選挙 フジテレビ『Live News α』

月 日	コーナー名等
6月22日(水)	参院選が公示 各党党首が第一声 物価高などが主な争点 自民・岸田総裁、立憲・泉代表、公明・山口代表、維新・松井代表、共産・志位委員長、国民・玉木代表、れいわ・山本代表、社民・福島代表、NHK党・立花党首
6月23日(木)	参院選関連なし
6月24日(金)	参院選関連なし
6月27日(月)	期日前投票が前回は上回る 参院選挙2週間で
6月28日(火)	参院選関連なし
6月29日(水)	参院選関連なし
6月30日(木)	参院選関連なし
7月1日(金)	参院選関連なし
7月4日(月)	期日前投票 前回は上回る 投票日1週間前時点で 世論調査でみえた参院選注目点① 物価高対策…働く人のホンネとは
7月5日(火)	景気と雇用…働く人のホンネとは 世論調査で見えた参院選注目点②
7月6日(水)	子育て支援・少子化対策…働く人のホンネとは 世論調査で見えた参院注目点③
7月7日(木)	参院選関連なし
7月8日(金)	参院選関連なし

【表13】 2025年参議院選挙 フジテレビ『Live News α』

月 日	コーナー名等
7月3日(木)	参院選公示 各党党首が支持訴え 自民・石破総裁、立憲・野田代表、公明・斎藤代表、維新・吉村代表、共産・田村委員長、国民・玉木代表、れいわ・山本代表、参政・神谷代表、社民・福島党首、保守・百田代表
7月4日(金)	物価高対策と財源 各党の政策は
7月7日(月)	参院選 与党で過半数 めぐる攻防に
7月8日(火)	年金問題 各党の政策は もっと深く 投票の前に
7月9日(水)	賃上げ政策 各党の主張は
7月10日(木)	石破首相「テーマだけで連立はない」 立憲・野田代表は政権交代に意欲（BSフジ「プライムニュースから」）
7月11日(金)	与野党6代表 政策など訴え 参院選中盤（社民、保守なし）
7月14日(月)	過半数維持に向け 与野党厳しい戦い
7月15日(火)	外交・安保巡る各党の立ち位置
7月16日(水)	「選択的夫婦別姓」「ジェンダー」各党の訴え
7月17日(木)	エネルギー・原発各党の訴え
7月18日(金)	参院選関連なし

## まとめと考察

2025年の参院選報道の最大の特徴は、【表1】で示したように民放の番組で大幅に報道時間が増えたことが挙げられる。2022年は参院選報道が無かった日が民放の番組で19あったが、2025年は6と大きく減少、『news zero』は全ての放送日で参院選報道を行った。時間増だけでなく『news zero』が参院選を全面に出さずに報道を行う形から、「党首に聞く」を柱としたこと、『news23』が、本筋ではないとは言わないが若者と選挙を3回に渡り取り上げた2022年参院選に対し、テレビ報道のあり方や被災地・能登の声を報道するなど報道内容にも変化が見られた。また、これまでの選挙では「参院選2025」といった共通タイトルをつけるケースがほとんどであったが、「投票前に考える それって本当」（日本テレビ）、「確かめて、選ぶ」（テレビ朝日）「選挙の日、その前に」（TBSテレビ）、「もっと 投票の前に」（フジテレビ）と参院選報道にあたりキャッチフレーズを付けたことも特徴として挙げられる。各社が参院選報道を充実させ、有権者に有益な情報を届けようとする意図が良く表れている。

また、新たな選挙報道のスタンスとして、選挙期間中でも政党や候補者に不利になる情報であっても報道することも行われた。こうした報道では、当然といえば当然だが、ただ事実を伝えるだけでなくその事実を検証する、当事者のコメントも放送するなど、短くても丁寧に伝えている。先に紹介したが例えば『報道ステーション』の2025年7月16日の「宮城県知事 参政党代表に抗議 『水道事業を外資に売った』発言」では、参政党の神谷代表の発言、村井知事の会見、そして「県の水道事業の運営は民間企業に委託し運営会社に外資の日本法人が一部出資しているが、最大の株主ではない」という事実を伝えたうえで、発言に対する神谷のコメントを放送した。その一方で気になるのは、『news zero』が「選挙ポスターで名誉毀損」「見解に抗議 日本自閉症協会が声明発表」「公約に抗議 医療巡り医師ら団体が声明発表」の3本、『報道ステーション』が、前述の「水道を外資に売った発言」に加え、「高齢の女性は子どもを産めない 参政党・神谷代表 街頭演説で」「参政・神谷代表 演説で差別的表現 直後に訂正し謝罪」の3本を報道したが、『news zero』『報道ステーション』以外の番組ではこうした報道は行われていないこと、さらに、『news zero』で報道されたものは『報道ステーション』では報道されておらず、その逆も同じであること。放送局のスタンスの違いやニュースとして取り上げる際の考え方にどう違いがあるのかはわからないが、今後、こうした報道がどのように展開していくのかについては、注視していく必要があると感じた。

さらに、投票行動に大きな影響が出てきているSNS関連の報道が『Live News a』以外の番組で報道されたことも2025年参院選の特徴として挙げられる。各番組ともに、選挙でSNSを活用することは、政党・候補者にとっては有権者に直接、情報を届ける手段として有効であり、有権者にとってもさまざまな情報を得ることができる手段として有効である、ということを前提に、偽情報が拡散している実態やSNSの情報を鵜呑みにせず自分自身で情報の真偽を確かめることが重要であることを伝えた。また、選挙戦後半に争点として急浮上した「外国人政策」に絡めた報道もあった。

2025年参院選で選挙報道が変わり始めていることは確認できた。しかし、各番組ともに初めての取り組みで視聴者・有権者に有益な情報を伝えられたのか検証を行っているだろう。今回の参院選報道を踏まえ、高市早苗首相が通常国会閉会直後に衆院を解散した第51回衆議院議員選挙と2024年

10月に行われた第50回衆議院議員選挙との比較も行いたいと考えている。

- (1) 兵庫県知事選挙で斎藤氏が再選、注目されたSNSと選挙、問われる選挙報道 [https://www.nhk.or.jp/bunken/research/focus/f20250101\\_4.html](https://www.nhk.or.jp/bunken/research/focus/f20250101_4.html) (2025年1月8日最終閲覧)
- (2) 【2025参院選報道】日本テレビ放送網 報道局の総力結集し新たに「選挙報道プロジェクト」立ち上げ <https://minpo.online/article/content-59.html> (2025年1月8日最終閲覧)
- (3) 【2025参院選報道】フジテレビジョン 「もっと 投票の前に」キャンペーン 新たな一歩と浮かんだ課題 <https://minpo.online/article/2025-27.html> (2025年1月8日最終閲覧)
- (4) 【2025参院選報道】TBSテレビ 有権者の「ちゃんと知りたい」に応える <https://minpo.online/article/2025tbs.html> (2025年1月8日最終閲覧)
- (5) 山名啓雄メディア総局長会見 6月定例記者会見要旨 <https://www.nhk.or.jp/info/pr/toptalk/assets/pdf/soukyoku/s2506.pdf> (2025年1月8日最終閲覧)